

洋上風力の観光資源としての活用(ボートツアー等)



洋上風車ボートツアー
(デンマーク)



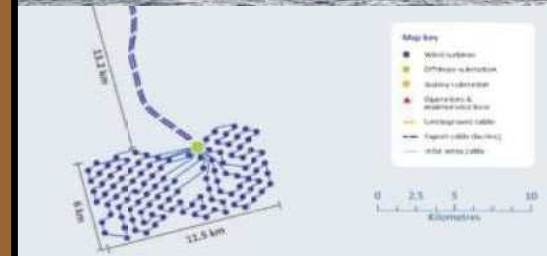
米Block Island
ウィンドファームツアー



【陸上】：展望台付き風車

Eye of the Wind

(カナダ・バンクーバー。ドイツ、イギリスにも展望台付き風車あり)
(安全面では疑問)



英Rampion 洋上風力発電所
ツアー(3.45MW×116基。
運転開始:2018年11月)



デンマークにおける
洋上風車と観光資源

＜日本での応用＞

- ・洋上ウィンドファームへ観光ボートツアー・遊覧船(漁船利用、ガイドは漁業者で)
- ・展望デッキ;海岸沿いに洋上ウィンドファームを眺望する「展望デッキ」を設置する。
- ・ウィンドファーム設置海域に「沖合展望デッキ」を設置する。
(「海釣り公園」を兼ねるのも一案。密漁監視とも)

(ボートツアー等の提案は、海産研の原提案には含まれず)

海産研の提言：漁業協調の基本的考え方

「基本的考え方：“漁業補償から漁業協調へ”」

- (1) 発電事業者も漁業者も共に潤うWin-Win(メリット共有) 方式
- (2) 地域社会全体の活性化に貢献
- (3) 透明性を確保した合意形成

「発電事業者および漁業者に求められる姿勢」

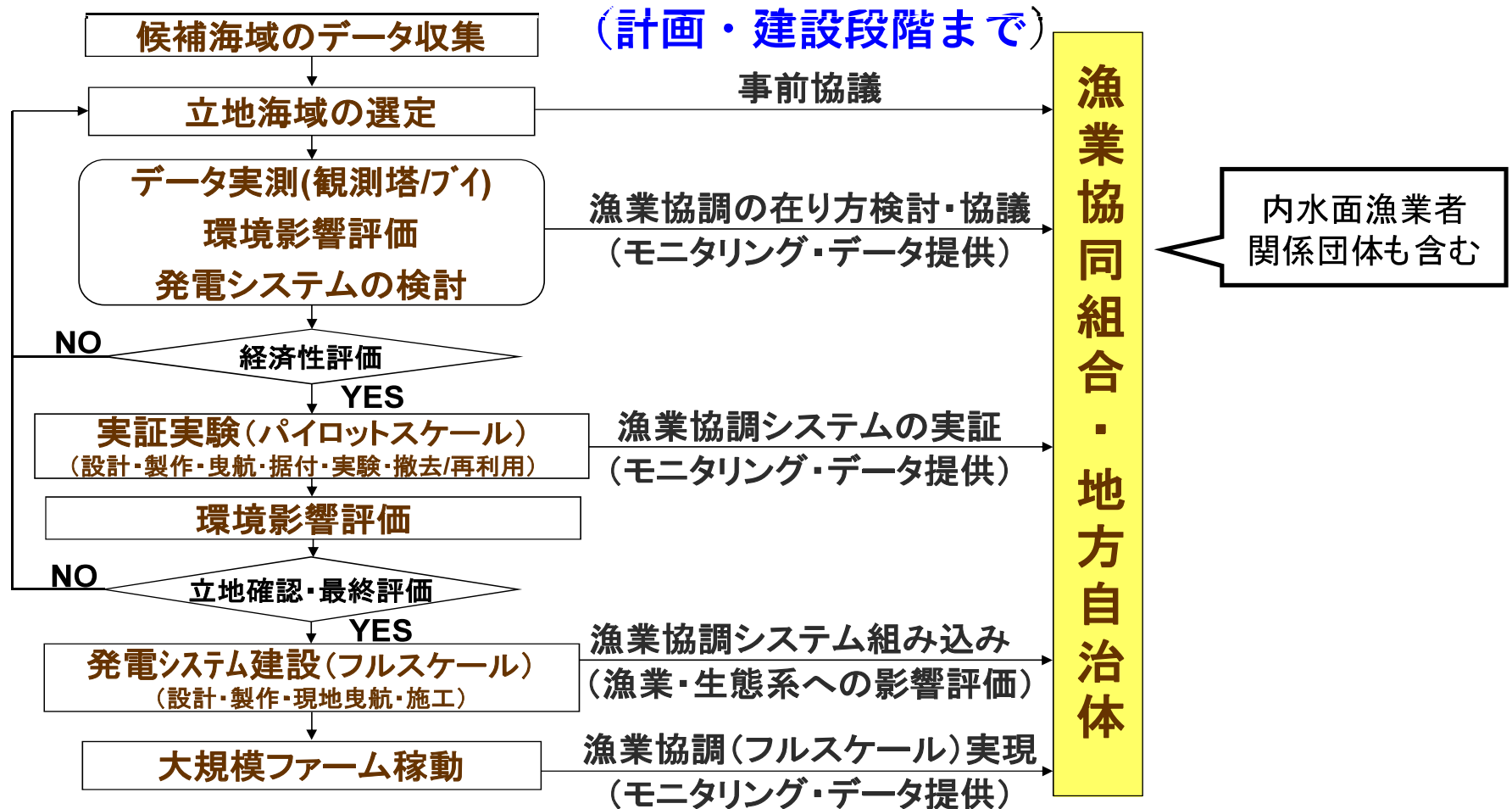
● 発電事業者

- 漁業とりわけ漁業権に関する正しい知識をもち、敬意を持って先行海域利用者たる漁業者との調整と合意形成を図る。
- 積極的に漁業協調システムの導入を図り、沿岸漁業の振興ひいては地域振興にも寄与しうよう取り組む。

● 漁業者

- 海洋再生可能エネルギー利用の意義を理解し、海域の多目的利用、海域の総合利用の観点から洋上発電立地について協力する。
- 洋上ウィンドファームの建設を活用し、これを持続的な漁業および漁村の発展に結びつけていくよう考える。

洋上風力発電の計画・建設段階と漁業協調



(出典：一般社団法人海洋産業研究会 洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言)

(注：右の吹き出しは追加したもの。)

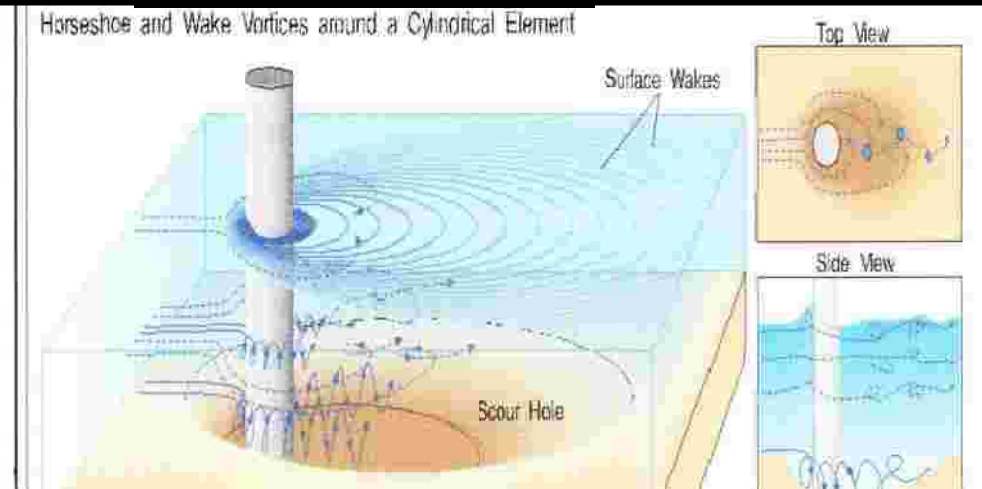
洋上風車基礎部の人工魚礁化利用 —モノパイル着床式の“洗掘防止工”の活用を！—



洗掘防止工の概念図

(左手前：モノパイル式)
(右 奥 :ジャケット式)

(出典：<https://www.yaeger-maessolutions.com>)



洗掘のメカニズム

(出典：<https://www.usgs.gov/news/earthword-scour>)



洗掘防止工の施工概念図

(出典：Jan De Nul 社ホームページ)